TEL杯・7車立てならTIPSTAR FII

5/5(月) 6(火) 7(水) GIRL'S KEIRIN ナイター開催 川崎スポーツ

脚力差が無くV争いは混戦模様

レース展望

5月5日から開催される川崎競輪はTEL杯・7車ならTIPSTARとして行われるFⅡナイター。東日本・中部近畿から好選手が集まっての熱戦が予想され、ガールズケイリンも含め1日11レース。

本来ならチャレンジ戦の予定だった市田龍生都(福井127期)が直前の函館開催で特班を決めて、1・2班戦に追加参戦となり、もちろん断然の優勝候補となる。競輪選手養成所を早期卒業して1月デビューを果した逸材で、チャレンジ戦は6場所を要し多少つまづいた面もあったが、ここから本格的な進撃が始まりそう。ナショナルチームに所属して、4月に香港で行われたインターナショナルカップではチームスプリントで金メダルを獲得しており、スピードとパワーの違いを見せ付け、狙うは3連勝完全Vだけだろう。

南関勢では地元から登場の大ベテランの白戸淳太郎(74期)。今期は24年ぶりのA降級となったが、4月上旬まで7場所連続決勝進出を決めており(失格を除く)、直近3場所では3勝と52才となった今も渋太い差脚はもちろん健在。今開催は南関に積極型が多く、望月一成(静岡111期)や荒川仁(千葉121期)を目標から久々のホームバンクVを狙っていく。関東は自在型で戦歴上位(GⅢを二度制覇)の鈴木謙太郎(茨城90期)が安定した成績を残していて中心となり、2班には徹底先行で売り出し中の依田翔大(山梨123期)がいて、しっかり勝ち上がって来れば強固なラインになる。

チャレンジ戦では市田が抜けたため、125期3人がV最短となるだろう。脚力的に差の無い中島竜誠(山梨)・阿部俊(静岡)・水谷亮太(愛知)はそれぞれバック数が多く、その機動パワーはもちろん一枚上で、ゴール前は力の決着になる可能性が高い。

ガールズでは実績上位の地元尾崎睦(108期)と日野未来(奈良114期)が一歩リードしているが、3月岐阜で初V達成し、その後も決勝2着2回のホームバンク大浦彩瑛(126期)が面白い。強力な相手にも臆することなく、スピードあるバック捲りを放っている。

A級 主力選手

白戸淳太郎 神奈川 74期

今期はA級に陥落してしまった地元のベテラン白戸淳太郎だが、1月別府の失格以外、全て決勝に進んでおり堅実な走りを見せている。それでもその失格点が足かせとなり、S昇級の競走得点は微妙なライン。この地元戦で、少しでも良い結果を残したいところだ。

A級 主力選手

高橋 舜 宮城 125期

学生時代も競技で活躍した本格派。今年1月に特昇班を決めて、1・2班戦でも初優勝は時間の問題か。ダッシュ力もあり、長い距離も踏める力も付いてきた。昇班後もほとんどのレースでバックを取っており、メキメキ力を付けている。優勝候補の一角として注目。

A級 主力選手

依田翔大 山梨 123期

逃げでも捲りでも相手に応じて戦える柔軟さがある自力型。師匠(志村龍己)の進言もあり、近況は積極的なレースをしているようだが、もともとロードレース出身でしっかり長い距離も踏める脚がある。まだまだ成績に波はあるが、今後の成長が楽しみな若手の一人。

A級 注目選手

中島竜誠 山梨 125期

兄(詩音119期)を追って競輪界入り。まだまだ実力を発揮できていない感もあるが、要所要所で豪快な走りを見せて今年は3Vを挙げている。今年1月当地を走った際には大乱調で未勝利に終わったが、今シリーズはしっかりファンの人気に応えてくれるだろう。

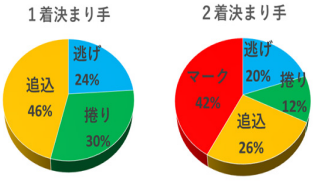
ガールズ 注目選手

大浦彩瑛 神奈川 126期

社会人の経験を経てガールズケイリンの門を叩き、養成所時代にゴールデンキャップを獲得するなど、非凡な才能を発揮。今年3月には岐阜で念願の初優勝を果たすなど、川崎期待の新人だ。今回はホームバンクの地元戦。気合を十分に入れてレースに挑むだろう。

川崎競輪場バンクガイド（2024年1月～12月データ）

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感じであり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル